

**製品名: Smad2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83798**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.39mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 52 kDa ; Observed MW: 58 kDa

**抗原情報**

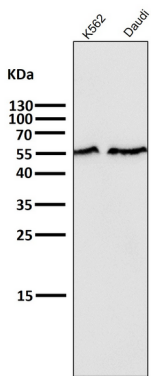
遺伝子名	Smad2
別名	JV18-1; MADH2; MADR2; Mad-related protein 2; Mothers against DPP homolog 2; Mothers against decapentaplegic homolog 2; Smad2;;SMAD2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q15796
免疫原	ヒト SMAD2 由来の合成ペプチド

## 背景

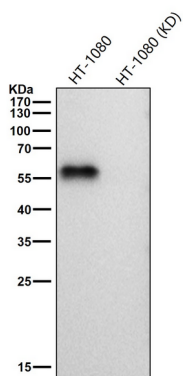
受容体制御性 SMAD (R-SMAD) は、TGF- $\beta$  (形質転換成長因子) およびアクチビン 1 型受容体キナーゼによって活性化される細胞内シグナル伝達因子および転写調節因子です。TGF- $\beta$  によって制御される多くの遺伝子のプロモーター領域にある TRE エlement に結合し、SMAD2/SMAD4 複合体の形成により転写を活性化します。歯乳頭細胞において、TGFB1 を介した象牙芽細胞分化遺伝子の転写を促進します (類似性による)。

## 研究分野

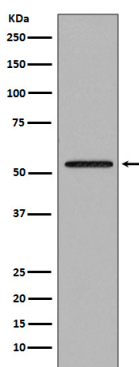
## 画像データ



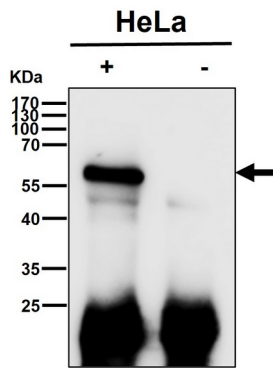
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



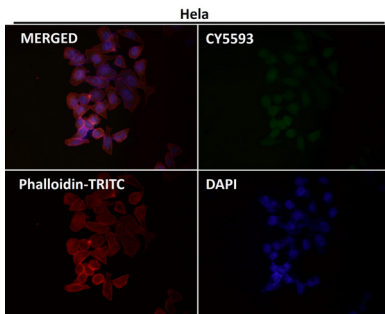
すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



Jurkat 細胞溶解物中の Smad2 発現のウェスタン プロット分析。



1:50 希釈の抗体を使用した免疫沈降 (IP) 分析。 (1:3K 希釈の wb)



1:50 希釈の抗体を使用した免疫蛍光分析。